

平成23年度当初予算 施策別概要

325 感染症対策の推進

(主担当部：健康福祉部)

- 32501 感染症予防普及啓発の推進 (健康福祉部)
- 32502 感染症危機管理体制の確保 (健康福祉部)
- 32503 感染症対策のための検査・治療体制の充実 (健康福祉部)

< 施策の目的 >

- (対象) 県民一人ひとりが
- (意図) 感染症の被害から守られている

< 現状と課題 >

- ・ 2009年度(平成21年度)に発生した新型インフルエンザについては、医療機関の協力および県民の冷静な行動等により健康被害を抑えることができましたが、国の医療対応等に関する情報管理や県から医療機関等への迅速な情報共有に課題が残りました。今後は、再流行やより病原性が高くなって発生した場合に備えるとともに、国および医療機関との情報共有の体制を整備する必要があります。
- ・ 感染症対策は、「三重県感染症予防計画」および「三重県結核対策基本計画」に基づき実施しており、新たな感染症への対応や、SARS(重症急性呼吸器症候群)などの輸入感染症の発生に備えた対策の充実が求められています。特に、発生時の迅速な拡大防止とともに、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者への対応が重要となりますが、現状では流行状況が速やかに把握できる機能が十分ではないことから、感染症に関する情報収集、調査研究、病原体検出能力向上など危機管理対策の充実が課題です。
- ・ 感染症は「うつる」病気としての意識が強いことから、感染者への誤解や差別が生じないように、患者の人権を尊重した対応が重要です。

< 平成23年度の実行方向 >

感染症の発生およびまん延を防止するため、保育所・学校や医療機関等と連携して、感染症の発生状況を早期に把握できる情報システムづくりの準備を進めます。また、新たな感染症の発生時の対応が的確に行えるよう、県・市町、医療関係者等を対象とした人材育成や研修を実施します。

感染症発生時に迅速に対応できる第二種感染症指定医療機関等の確保に向けて関係機関との協力体制を整備します。

結核医療に要する治療費の補助をするほか、直接服薬指導、早期受診の普及啓発、患者の人権啓発、結核講習会開催などの結核対策を実施します。

エイズ対策を推進するため、人権を尊重した啓発活動、相談・指導、検査等を行います。また、地域のボランティアと協働して行う世界エイズデー等の啓発活動とともに、予防対策の機会を通じて患者等の人権尊重をはかるための啓発を行います。また、B型・C型肝炎対策については、感染の早期発見が重要であることから、引き続き各保健所および委託医療機関で無料検査を実施します。

感染症に関する調査研究および試験検査を引き続き行うとともに、感染症や感染症予防対策などの正しい情報を三重県感染症情報センターから提供します。

市町が「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業」に基づき実施する子宮頸がん予防ワクチン、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型ワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種事業にかかる経費について、国の交付金を活用して経費の一部を補助します。

<主な事業>

(新)感染症対策基盤整備事業【基本事業名：32501 感染症予防普及啓発の推進】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

予算額：(22) - 千円 (23) 7,473千円

事業概要：感染症の発生およびまん延を防止するために、感染症情報を発信できるシステムづくりの準備を進めるとともに、地域の予防対策を支援する感染症情報化コーディネーターを養成します。また、県立看護大学が行う認定看護師教育課程を支援するなど、多くの感染管理認定看護師を養成することで、院内感染防止や地域の感染症対策の強化をはかります。(県内医療機関、29市町および8保健福祉事務所職員)

結核・感染症発生動向調査事業【基本事業名：32501 感染症予防普及啓発の推進】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

予算額：(22) 21,317千円 (23) 18,369千円

事業概要：「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の情報を迅速に収集、解析し、県民、医療機関等へ情報提供を行い、感染症のまん延を未然に防止します。(法に基づく103疾患について、調査を実施)

防疫対策事業【基本事業名：32502 感染症危機管理体制の確保】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

予算額：(22) 120,600千円 (23) 79,815千円

事業概要：感染症に対応するため、保健所による感染症発生時等の速やかな調査・行政検査、入院勧告を受けた患者に対する医療費の公費負担、感染症指定医療機関の整備、研修・訓練を行います。

結核対策事業【基本事業名：32503 感染症対策のための検査・治療体制の充実】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 2 結核対策費)

予算額：(22) 144,380千円 (23) 8,592千円

事業概要：結核のまん延を防ぐため、患者・接触者の訪問指導、行政検査、服薬指導支援などの対策を実施します。

エイズ等対策事業【基本事業名：32503 感染症対策のための検査・治療体制の充実】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

予算額：(22) 21,999千円 (23) 15,895千円

事業概要：エイズのまん延防止をはかるため、検査・相談体制の整備、人権を尊重した啓発を行います。また、B型・C型肝炎対策については、感染の早期発見が重要であることから、各保健所および委託医療機関で無料検査を実施します。

予防接種対策事業【基本事業名：32503 感染症対策のための検査・治療体制の充実】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

予算額：(22) 29,750千円 (23) 1,088,951千円

事業概要：市町が実施する子宮頸がん予防ワクチン、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型ワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種にかかる経費の一部を助成します。また、予防接種に関する啓発等を行い、接種率の向上をはかるとともに、健康被害者への救済や、三重県予防接種センターと連携し医療相談への対応を行います。(子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業への助成 29市町、予防接種事故救済費の給付 8市町9人)